

新風

SHINPU

前川おさむ後援会会報

vol. 10号

平成7年1月

新年 あけまして おめでとうございます

皆様には、ご家族おそろいですばらしい新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて、平成六年を振り返りますと、観測史上まれに見る、異常気象・干ばつで何かとご苦労が多かったことと思います。私は一月の成人式、消防出初め式に始まり、二月には県議会経済常任委員会の菊池市視察（鳳来地区の椎茸栽培）、三月議会で厚生常任委員会副委員長拝命、四月には鳳来体育館（やまびこ体育館）・岩平橋の落成、五月は九州県議会野球大会（福岡ドームでプレー）、子供総合療育センターの落成（松橋町）、六月は熊本県立大学の発足（前熊本女子大）、七月は地域開発特別委員会視察、八月は厚生常任委員会でベトナム視察、それと雨乞い太鼓で市内一円を回り、九月から「ふれあいトーク県政懇談会」がスタート、十月は秋祭り（新宮さん）で御興をかつき、厚生常任委員会の菊池市視察（有働病院ふれあいの里）、十一月は名古屋で全国身障者スポーツ大会の本県参加選手を激励、十二月は二回目の一般質問というふうに、大変充実した日々を過ごさせていただきました。

菊池市に軸足を置きながら、県政全般にわたる諸問題を勉強する中で、今菊池市は大変重要な時期を迎えていると思っております。それは、昨年十二月の一般質問でも取り上げましたが、竜門ダムの問題です。地域住民の皆様のご理解とご協力により、ダムは完成目前となりました（事業全体としては平成八年度完成は困難との見通



厚生常任副委員長として

農水省の職員の皆さんとその家族、建設現場の皆さん、合計で数百人（おそらく最盛期は五百人を越えていたと思われる）の皆さんが、菊池市で仕事をさせて頂いております。昭和二十五年頃「朝鮮特需」という隣の朝鮮半島の戦火により、経済需要が増大した時期がありました。現在の菊池市は「竜門ダム特需」の状況だと言えるところです。現状でも厳しい本市の経済情勢が「特需」の状況だと言いたくありませんが、竜門ダム建設が終了したその後のことを真剣に考えて、施策を講じていく必要があることを痛感しております。

正月早々、大変厳しい話になりましたが、現実から目を背ける事なく、様々な課題に真正面から挑んでいく覚悟の表明として、お受け取り頂ければ幸いに存じます。

また今年も、私にとって県議二期目への試練の年でもあります。選挙制度改革に伴う新選挙法での選挙ですが、これまで通り、政策本位の選挙をやりたいと思っております。

最後になりましたが、本年が皆様にとって幸多い、すばらしい一年でありますことを御祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。



友と共に雨乞い太鼓

し）。ダム建設に伴う各種要望事項のやり残しもありますが、ダム建設事業が終了した後本市の経済状況はさらに厳しくなることが予想されます。竜門ダム建設事業は、関連の農水省菊池台地農業水利事業と合わせて、約二千億円もの事業費を投じて行われております。さらに、建設省・

県議会一般質問

4. 菊池台地土地改良事業について

〈答弁：農政部長〉

(1)事業計画の変更について

事業費の増加については、物価スライドアップや分土工施設及び調整施設の追加などと説明を受けている。計画変更については、該当するかどうか国の内部で検討中であると聞いている。

(2)県営工事の進捗状況と完了見通しについて

県営事業の23地区のうち、17地区が着工している。国営事業と附帯県営事業の跛行を可能な限り小さくさせることが重要であるので、未採択地区の早期採択に今後も努力したい。

(3)農家負担の軽減について

県内の他の国営事業とのバランスにも十分配慮しながら、国のウルグアイ・ラウンド対策の動向をも見極めつつ、市町村や関係機関と十分協議してまいりたい。

5. 廃棄物対策について

〈答弁：環境公害部長〉

(1)公共関与による第3セクター方式の産業廃棄物最終処分場の建設について

産業廃棄物の適正処理による環境の保全と県民経済の健全な発展を保証することが必要であるとの認識のもとに、公共関与による最終処分場の建設に着手すべき時期については、民間処分場の動向等も勘案しながら、慎重に判断することとしたい。

(2)基本的な問題解決のための公共関与のあり方について(要望)

既存産廃施設に対しても公共関与をして、地域住民に安心感を与えるべきだ。

(3)一般廃棄物の処理について、オランダ・ライモンド方式の採用について(要望)

県内38カ所あるゴミ焼却場や産廃を同一施設にして、県内数ブロックにわけて建設すればスケールメリットも活かせるし、地域問題も解決できる。

*一般質問の全文を後援会事務所のほうに保管しておりますので、ぜひ、閲覧にお越しください。

ベトナム視察(厚生常任委員会)

ベトちゃんドクちゃんを励ます

去る8月2日から5日まで、県議会厚生常任委員会、ベトナムのホーチミン市を訪れました。

ドイモイ政策で自由経済を導入しているベトナムは、大変活気に満ちた経済復興の途上にあり、近い将来日本の経済空洞化へ大きな脅威になると感じました。しかしベトナム戦争による国土の荒廃と、国民の心の傷ははかり知れないものがあり、日本の援助が必要なことも実感いたしました。

今回の視察の目的は、ベトナム戦争時、化学兵器で身障者として生まれた人たちが収容されているツーズー病院の視察と、同病院に入院しているベトちゃんドクちゃんの激励でした。ベトちゃんドクちゃんは二人とも元気で、特にドクちゃんは私たちを出迎えてくれ、ピアノの演奏まで聴かせてくれました。同病院には、三十人に及ぶ戦争によって障害者として生まれた子供たちが収容されていました。手のない子、両足のない子、舌のない子、それは枯れ葉剤作戦という化学兵器が胎内の子供に及ぼした悲惨な姿でした。

冷戦構造が終結し、局地戦争、民族紛争の時代となり、日本にもPKO(平和維持活動)など、さまざまな形で国際貢献が求められていくとき、現在の平和な日本を築いてくれた先人たちに感謝をするとともに、今後も平和な日本であるために、国際社会の中での役割分担をどうしていくのか、もう一度、真剣に考えるべきだと思います。



ドクちゃんとツーズー病院前で



戦争後遺症で苦しむ子供達と

平成6年12月定例

12月定例県議会一般質問より



去る12月9日、昨年に続きまして前川県議が2回目の一般質問を行いました。幾多の難題を抱える市政に関しての質問を主に、県執行部の姿勢を問いました。内容は次の通りです。

1. 知的障害者の就労自立促進と肥後学園のあり方について

〈答弁：知事〉

近々、検討委員会から御提言を戴くことになっており、肥後学園が本当に知的障害者の自立に向けた施設として、その機能が果たせるよう、御提言の趣旨を十分尊重。

2. 老人福祉問題について

〈答弁：福祉生活部長〉

(1)老人福祉計画の計画達成に向けたマンパワーの育成と確保について

公的サービスの人材育成とともに、地域福祉の担い手としてのボランティアなど民間ベースでの人材育成も進める。

(2)計画実現に向けた平成7年度予算の取り組みについて

平成11年度に計画が達成されるように、事業の推進と財源の確保に務める。

(3)福祉公民館について

高齢化社会が進む中、既存施設を福祉の視点から見直す必要性は感じている。制度的な制約もあり、関係

部局と協議しながら検討を進めたい。

3. 菊池地域の振興について

〈答弁：企画開発部長〉

(1)竜門ダム関係について

①ダム完成工期の見通しと国体や菊池台地農業水利事業の影響について

平成8年度の完成は困難な状況ではあるが、ダム完成の遅れによる国体および菊池台地農業水利事業への影響はない見通し。

②周辺地域の整備について

市が行うことになっている公園化事業のなかで、観光地の基盤整備事業については、補助事業の適用等による支援を考慮。

③調整水路の建設について

立門からの取水による農業用水不足対策として、既存の取水堰の改修などを実施。

調整水路は建設省が敷設することとなっており、県としては当事業の早期実施を要求。

④地元要望に対する今後の取り組みについて

地元要望の実施状況については、随時地元へ経過報告を行い、未解決の要望については、建設省とともに解決を図っていく。

(2)国道325号の4車線化と幹線道路ネットワークについて

〈答弁：土木部長〉
本年度から、大津町杉水地区から旭志村伊坂地内にかけての3.6キロメートルの整備に取り組んでいる。今後、残された区間については本工区の進捗状況を勘案しながら検討してまいりたい。

県北地域と県南地域を結ぶ幹線道路の整備計画については、計画的に強化を図っている。

(3)国道387号について(要望)

熊本市と菊池市とを結ぶ幹線道路 黒石駅周辺を平成11年までに改良予定。

竜門ダム

一県議会一般質問 導水路工事など遅れ

8年度中の完成困難

十二月定例県議会は九日も一般質問があり、自民党の前川収議員(菊池市区)、無所属の江口隆二議員(水俣市区)、自民党の草村照議員(阿蘇郡区)が、竜門ダムの完成見通しや水俣・芦北地域の振興計画などを聞いた。この中で細溝清史企画開発部長は、「竜門ダム事業全体の平成八年度中の完成は難しい」との見通しを明らかにした。十、十一日は休会、十二日は一般質問があり、三議員が登壇する。

前川議員は、竜門ダムの完成時期や周辺整備について聞いた。細溝部長は「ダム本体は六年度中の完成が見込まれるが、導水路工事とダム周辺整備事業の遅れで、事業全体の完成は(予定していた)八年度中は難しいと聞いている」と答えた。

また、同部長は「ダム貯水は九年度から可能で(漕艇競技会場となっている)国体のリハーサル大会に支障はなく、菊池台地の農業水利事業にも影響を及ぼさないと建設省から見通しを示していただいている」とも説明した。

(12月10日 熊日より)



いあいさつ

熊本県知事 福島 譲 二一

皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

旧年中は、県政の推進に当たりまして、皆様から温かいご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

前川收先生の後援会会報「新風」の発刊にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。先生は菊池市議会議員を経験された後、平成5年7月に地元の衆望を担って33才の若さで県議会議員に見事当選され、新進の青年政治家として持ち前の果敢な行動力を発揮されて県政発展のために幅広く活躍され、多大なご貢献をいただいておりますことを改めて深く感謝申し上げます。

特に議会では、すでに2回一般質問に登壇されておられますが、菊池地域の振興について質問され、国道325号4車線化と道路交通網の整備・テクノポリス構想・菊池台地土地改良事業の推進・竜門ダム周辺整備など多面的な角度からその施策等を吟味されるなど、地域の浮揚への先生の強い熱意を感じさせられております。また、老人福祉・障害福祉問題や産業廃棄物問題など県政の重要課題についても、その核心を鋭く突かれるとともに的確な政策提言をいただいております。県政について常に研鑽を積まれる先生の意気込みと議会活動への真摯な取組に深く敬意を表します。これからも若々しい活動で議会にさわやかな清風を吹き込んでいかれるものと思います。

さて、県におきましては総合計画に基づき、躍動感にあふれ、やさしさに満ちた「ゆたかさ多彩『生活創造』くまもと」を築くため種々の施策に積極的に取り組んでいるところでございます。この計画の実現のため、議会との緊密な連係を保ち、着実な県政を推進して参りたいと存じます。

前川先生には、今後とも菊池地域の振興をはじめとして県政発展のため、ますますご活躍いただきますよう心からお祈り致します。ご挨拶いたします。

今回で10号になりました「新風」いかがでしたでしょうか。一般質問の内容は、質問と答弁合わせて一時間の議論であり、とてもこの紙面で全文を紹介できませんが、興味のある方は是非ご連絡ください。

ふれあいトーク県政懇談会も、精力的に各地区で行っております。県政の課題から菊池市の将来を見据えた話まで、実にわかりやすい話だとご好評を頂いております。また、懇談の中では、市民の皆様の生活に密着した話題から長期的な課題まで、様々なご意見を聞かせて頂いております。厚生常任副委員長として県庁や各地を飛び回り、めまぐるしいスケジュールをこなしている前川県議であります。今回の一般質問も、懇談会の中からお出してきたご意見の部分が沢山あったように思います。そういえば、私は大体、朝から晩まで県議と一緒に行動しておりますが、いつ、県議が質問の内容を勉強し、その原稿を書いたのか不思議に思っております。私がいつも質問の内容をワープロでうちますが、事務所では原稿を書いている時間というのはずかな時間で、多分、一日のスケジュールが終わった後、自宅で資料を集めて原稿を書き（おそらく徹夜もあったのでは？）翌朝原稿を渡していただけるんだと思います。

編集後記

驚いております。実にタフな前川県議にいつも

県政懇談会をまだ行っていない地域もありですが、今後も続けていきますので、ご連絡を頂きたいと思っております。少人数でも結構です。お電話お待ちいたしております。また、近くで懇談会がある時には年齢性別構わずにご参加頂き、日頃抱えていらつしやる問題等、お話を聞かせて頂ければ幸いです。

「新風」に対するご意見や投稿記事も大歓迎いたします。寒い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

(前川事務所 茂田)



ふれあいトーク 前川收県政懇談会

前川收後援会のシンボルマークができました

この度、左記の通り前川收後援会のシンボルマークができました。前川県議のイニシャルであり、OとMをモチーフに、Oは太陽をMは山をイメージしており、自然豊かな郷土・菊池を愛し、大自然のように力強く、やさしく、そして温かい政治家をめざす前川県議をあらわしております。今後、皆様に親しまれ、可愛がられますよう願ひ申し上げます。



Osamu Maekawa



前川おさむ後援会

事務所 〒861-13
菊池市大琳寺198-1
TEL・FAX0968・24・2171
自宅 〒861-13
菊池市片角119-2
TEL・FAX0968・24・0471